



制度と職場環境を整え 仕事と家庭を両立できる会社へ。

富士通コミュニケーションサービス(株)

コーポレートサービス本部 新潟センター支援サービス部 部長代理

雲田 武司 さん

こんな取組を
推進しています!

1 残業時間抑制の取組

各部署でノー残業デーを実施。
残業時間を抑える工夫でワーク・
ライフ・バランスの実現を図る

2 スマイル子育て支援金

結婚時のみだったお祝い金制度を、
出産時と入学時にも支給するよう刷新

3 マイプレミアム休暇制度

自分だけの記念日に休暇を取ってもら
う制度を新設。有給休暇の取得率向上を
目指す

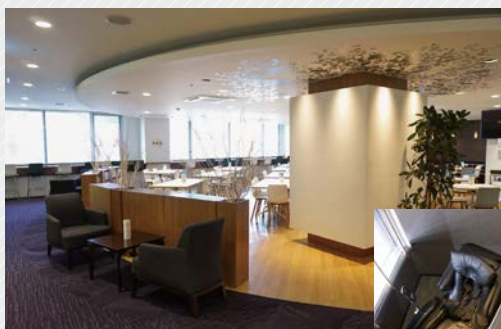
当社では、社員の満足度向上がお客様の満足に繋がると考え、ワーク・ライフ・バランスを支援するさまざまな取組を行っています。2017年、社員の要望や現在の職場環境を考慮して社内制度を大きく改変しました。これによって、希望者以外の転勤は基本的にはなくなりました。転勤の不安が軽減され、働きやすさの向上につながっています。また、「スマイル子育て支援金」として、これまでの結婚時に加えて、出産時や子どもの入学時にもお祝い金を支給するようになりました。さらに、年次有給休暇の取得率向上のために、「マイプレミアム休暇制度」を導入。誕生日や結婚記念日など自分だけの記念日に休暇を取ってもらう制度で、今まででおよそ700回もの申請がありました。

育児短時間勤務制度を利用している社員も多く、個々の生活スタイルに合わせて働ける環境をさらに整えるため、2018年11月には、育児時短制度を最大4時間までに拡大しました。5年ほど前から導入しているノー残業デーも浸透しています。部門ごとに設定したノー残業デーは、ほぼ100%

達成、その他の日も徐々に残業が減ってきています。社員の間で時間内に仕事を終わらせるよう声掛けをして、定時で帰るという意識が根付いてきているのだと感じています。

また、新潟サポートセンターは2012年にフロアを移転した際、福利厚生の一つとしてリフレッシュルームを新設しました。電話でお客様対応をする社員のみなさんに、リラックスして休憩時間を過ごしてもらえるよう畳のスペースやサイレントルームなども完備しています。社員が自由に使うことのできるマッサージチェアもあります。

以上のような取組や、社内の周知活動によって、男性社員が育児休業を取ることにハードルが下がってきている印象です。2018年10月には、新たに男性社員が育児休業を取得しました。今年3月に、育児時短4時間を利用して復職する予定です。家庭との調和を大事にし、無理せず仕事に慣れていってほしいです。また、貴重な体験記を社内に伝え、今後もより一層多くの男性社員が育児休業を取得できるような雰囲気作りに努めていきたいと思っています。



メインスペース



サイレントルーム



お座敷スペース

明るく開放的なリフレッシュルームを 完備しています。

テーブル席、カウンター席、畳のお座敷席、サイレントルームがあり、好きな場所で休憩することができます。サイレントルームは半個室になっており、照明を落とした静かな部屋にマッサージチェアを完備。こちらも好きな時に利用でき、使用

料はもちろん無料です。スクリーンやマイクを設置して、イベント会場として使用したり、大規模なセミナーを開催したり、時には、ビールサーバーを置いて、即席ビアホールになることもあります。

FUJITSU 富士通コミュニケーションサービス

●所在地:新潟市 ●業種:サービス業 ●従業員:4,150人

【業務内容】コンタクトセンター(コールセンター)やITサポート業務などのアウトソーシングを提供。クライアントの「真のパートナー」として、ビジネスに貢献する多彩なサービスを展開している。



私たちはイクメン応援宣言企業です!

新潟県では、男性労働者が育児に参加しやすい職場環境づくりに積極的に取り組む企業を「イクメン応援宣言企業」として登録しています。

もっと詳しく知りたい方は

にいがたイクメン応援宣言



<https://niigata-ikumen.jp>

2019年2月発行